



なないろ



立山町立立山北部小学校

4年 学年だより

R5. 12月号



いよいよ今年もあとわずか

立山連峰も美しく雪化粧をし、寒さの厳しい日も多くなってきました。

子供たちは、もうすぐ冬休みということで、楽しいことを考え、ワクワクしています。家庭での温かでゆったりした時間を大切にするとともに、家族の一員としてお手伝いもできたらいいですね。また、冬休みは自分の苦手な教科に取り組んだり、得意な教科を伸ばしたりするのに最適です。冬休みをいかに過ごすかで、3学期のスタート、ひいては5年生のスタートに大きく影響します。子供たちが新しい年へ、そして進級に向けて力強く進んでいけるように、生活面、学習面でのサポートをよろしく願いいたします。

いのちの授業から

助産師の野澤さんをお迎えして、「いのちの授業」をしていただきました。

生命の誕生の神秘・・・小さな点のような奇跡の命が、1か月でお米サイズになり、280日で赤ちゃんとして生まれてくることを、優しい口調で、分かりやすく教えていただきました。子供たちは、野澤さんからいただいた折り紙に開けられた小さな穴が命の始まりだと知り、驚いていました。折り紙の中には、一粒の米も入っていて、いのちの始まりの小ささを実感したようでした。また、本物の赤ちゃん（もりねくん）もお母さんと一緒に来てくれて、とてもかわいらしい様子を見せてくれました。

いのちのメッセージカードには、保護者のみなさんから愛情あふれる温かい言葉をたくさんいただき、本当にありがとうございました。



おだやかな時間が流れました。

赤ちゃんはすごいと思います。おなかから、生きる力をもって出てきて、息をして・・・やっぱりすごいと思います。
(師田 たいし)

おなかの赤ちゃんは、あったかい袋みたいなものに入っていると初めて知ってよかったです。
(林 けいすけ)

人形の赤ちゃんを持ったら意外と軽くて、一年半ほど、3～4倍になるのがすごいと思いました。
(中山 じん)

赤ちゃんが生まれて命が誕生することは、地球の海から1円玉を見付けるぐらいすごいことだと言われて、すごく大変なことだと分かりました。
(川本 ゆあ)

自主学习ノートをがんばっています

素晴らしい自主学习ノートがたくさんあります。いくつか紹介します。冬休みも自分のためにがんばってほしいと思っています。(左：こはるさん 中央：ゆなさん 右：ゆずなさん)

